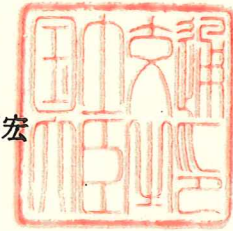


認定書

国住指第 2099 号
平成 26 年 10 月 16 日

日本住環境株式会社
代表取締役社長 林 容 様

国土交通大臣 太田 昭宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号の二及び同法施行令第 107 条の 2 第二号（軒裏：45 分間）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

QF045RS-0257

2. 認定をした構造方法等の名称

鋼板製換気金物・中空押出ポリプロピレン板製通気材／木製下地軒裏

3. 認定をした構造方法等の内容

別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

鋼板製換気金物・中空押出ポリプロピレン板製通気材／木製下地軒裏

2. 仕様の寸法：

仕様の寸法を表1に示す。

表1 仕様の寸法

項 目	仕 様
軒の出	18(±4)mm
軒の幅	構造計算等によって構造安定性が確かめられた寸法
軒の形状	水平

3. 仕様の主構成材料：

仕様の主構成材料を表2に示す。

表2 仕様の主構成材料

項 目	仕 様
軒 天 換 気 材	<p>換気金物 材料：①～⑨の一</p> <p>①塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322)</p> <p>②溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321)</p> <p>③塗装溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318)</p> <p>④溶融亜鉛－5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3317)</p> <p>⑤冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305)の一部 (鋼種：SUS430、SUS445J1、SUS445J2、SUS447J1)</p> <p>⑥塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312)</p> <p>⑦溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302)</p> <p>⑧ポリ塩化ビニル被覆金属板(JIS K 6744、但し原板のアルミニウム及びアルミニウム合金を除く)</p> <p>⑨塗装/亜鉛めっき鋼板(国土交通大臣認定不燃材料：NM-8697)</p> <p>厚さ：0.35(－0.04)mm以上</p> <p>表面化粧(塗装品の場合)</p> <p>材料：1)～8)の一</p> <p>1)ポリエステル樹脂系塗料</p> <p>2)エポキシ樹脂系塗料</p> <p>3)ウレタン樹脂系塗料</p> <p>4)シリコーン樹脂系塗料</p> <p>5)アクリル樹脂系塗料</p> <p>6)フッ素樹脂系塗料</p> <p>7)アミノ・アルキド樹脂系塗料</p> <p>8)塩化ビニル樹脂系塗料</p> <p>化粧量：270(+30)g/m²以下</p> <p>換気孔の寸法(1孔あたり)：40×4.5mm以下</p> <p>換気孔総面積：79.2cm²/m以下</p> <p>換気孔間隔：43(－1)mm以上</p>

つづく

つづき

軒 天 換 気 材	通気材	材料：中空押出ポリプロピレン板 組成(質量%)： ポリプロピレン 97(+3) カーボンブラック等 3(-3) 質量：92(+15)g/m
	通気材連結材	仕様：(1)又は(2) (1)合成樹脂テープ 厚さ：0.5(+0.05)mm以下 幅：30(+3)mm以下 (2)なし
	遮熱材	材料：スラグせっこう板(JIS A 5430)、 (国土交通大臣認定不燃材料：NM-8314) 厚さ：5mm以上 密度：0.9(-0.1)g/cm ³ 以上
	ジョイントカバー	仕様：(1)又は(2) (1)なし (2)あり 材料、厚さ及び表面化粧：換気金物と同じ
下地材		材料：①～④の一 ①日本農林規格に適合する針葉樹の下地用製材、下地用集成材 ②日本農林規格に適合する単板積層材 ③日本農林規格に適合する合板 ④平成12年建設省告示第1452号に規定する無等級材 断面寸法：総厚21(-3)mm以上×総高さ21(-3)mm以上 密度：0.30(-0.03)g/cm ³ 以上

4. 仕様の副構成材料：

仕様の副構成材料を表3に示す。

表3 仕様の副構成材料

項 目	仕 様
留付材	<p>軒天換気材固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>種類：1)、2)又は3)</p> <p>1)くぎ</p> <p>2)スクリークぎ</p> <p>3)リングくぎ</p> <p>寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>種類：1)～4)の一</p> <p>1)タッピンねじ</p> <p>2)リングくぎ</p> <p>3)ドリリングタッピンねじ</p> <p>4)木ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>材質：1)又は2)</p> <p>1)鋼製</p> <p>2)ステンレス鋼製</p> <p>留付間隔：1000mm以下</p> <p>差込深さ：20(－2)mm以上</p>
	<p>下地材固定用：</p> <p>材料：①又は②</p> <p>①くぎ</p> <p>種類：1)、2)又は3)</p> <p>1)くぎ</p> <p>2)スクリークぎ</p> <p>3)リングくぎ</p> <p>寸法：胴部径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>②ねじ</p> <p>種類：1)～4)の一</p> <p>1)タッピンねじ</p> <p>2)リングくぎ</p> <p>3)ドリリングタッピンねじ</p> <p>4)木ねじ</p> <p>寸法：呼び径φ2.75×長さ50mm以上</p> <p>材質：1)又は2)</p> <p>1)鋼製</p> <p>2)ステンレス鋼製</p> <p>留付間隔：500mm以下</p>

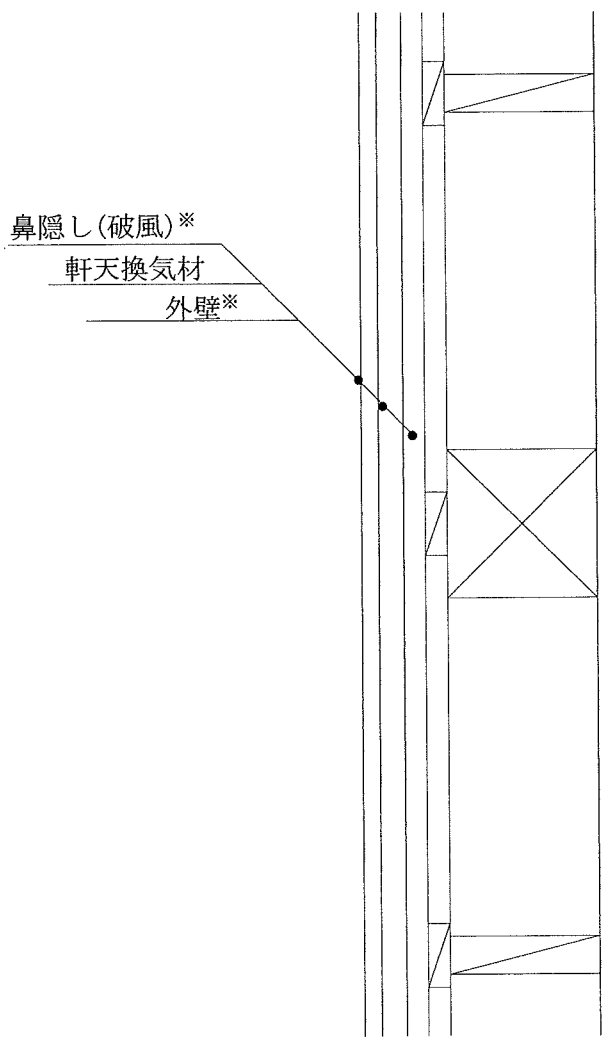
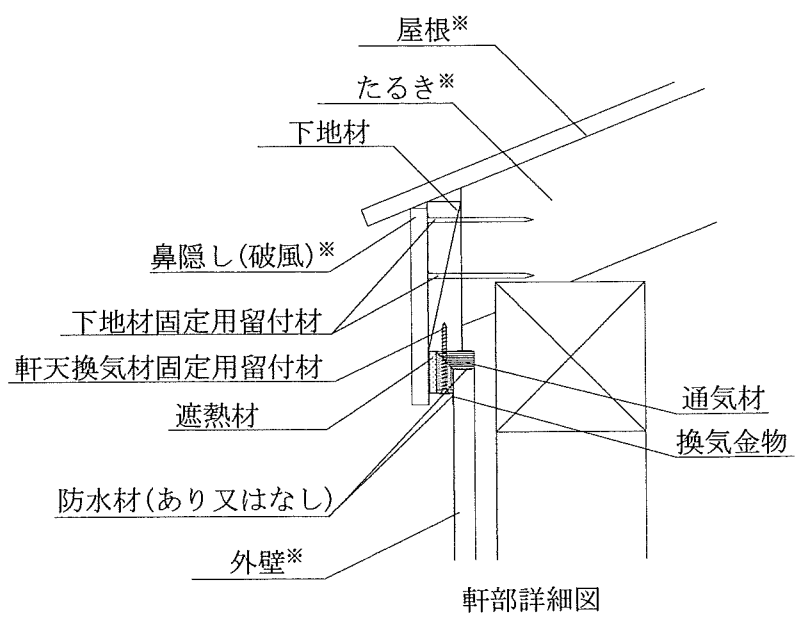
つづく

つづき

防水材	仕様：(1)、(2)又は(3) (1)なし (2)コーキング材 材質：1)～7)の一 1)アクリル系 2)変成シリコーン系 3)ウレタン系 4)アクリルウレタン系 5)ポリサルファイド系 6)変成ポリサルファイド系 7)シリコーン系 使用量：5(－0.5)g/m以上 (3)パッキン材 材質：エチレン－プロピレン－ジエン系ゴム 断面寸法：幅10(－1)mm以上×厚さ5(－0.5)mm以上
-----	--

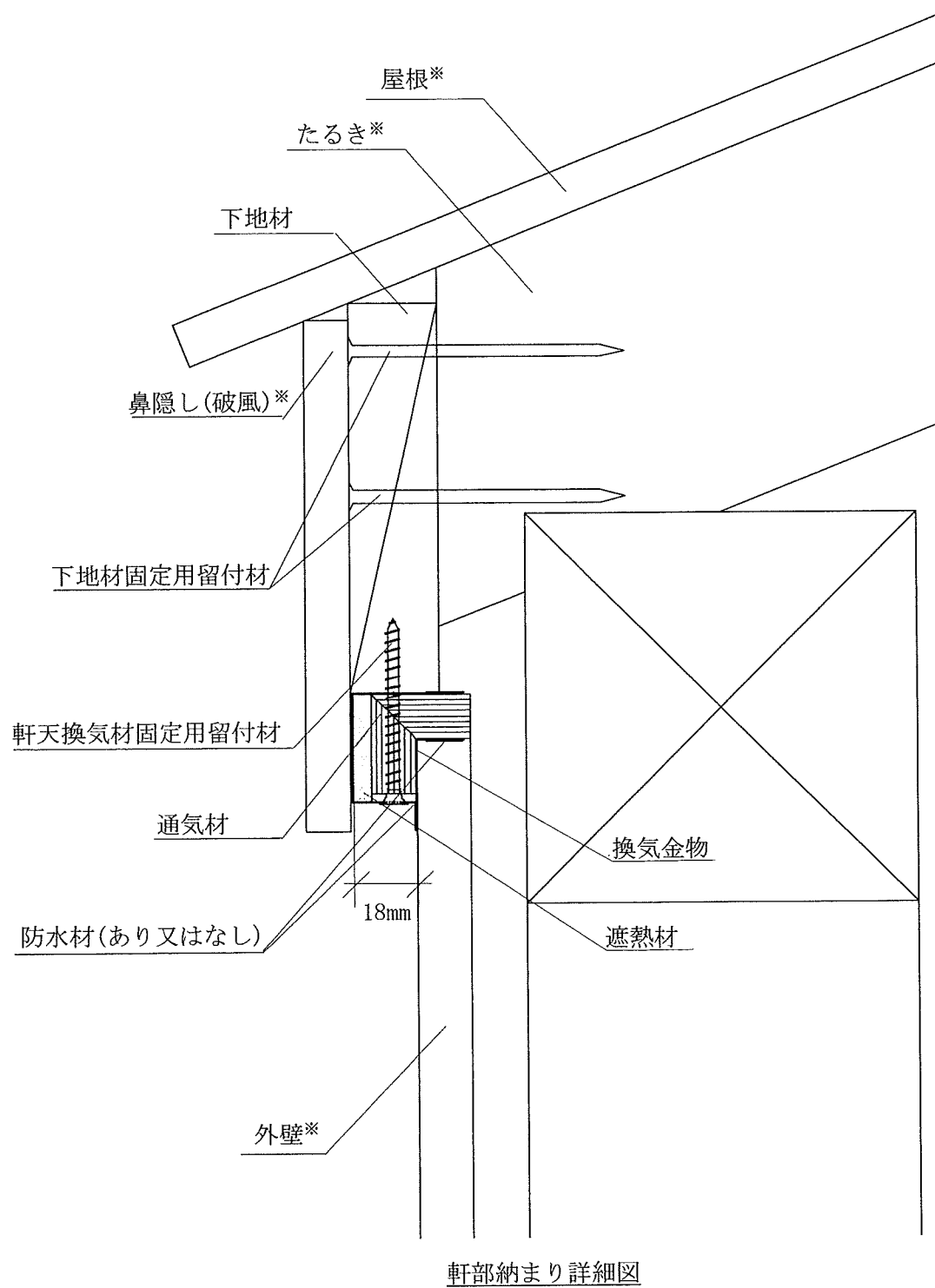
2. 仕様の構造説明図：

仕様の構造説明図を図1～図3に示す。



※評価対象外

図1 構造説明図



※評価対象外

図2 構造説明図

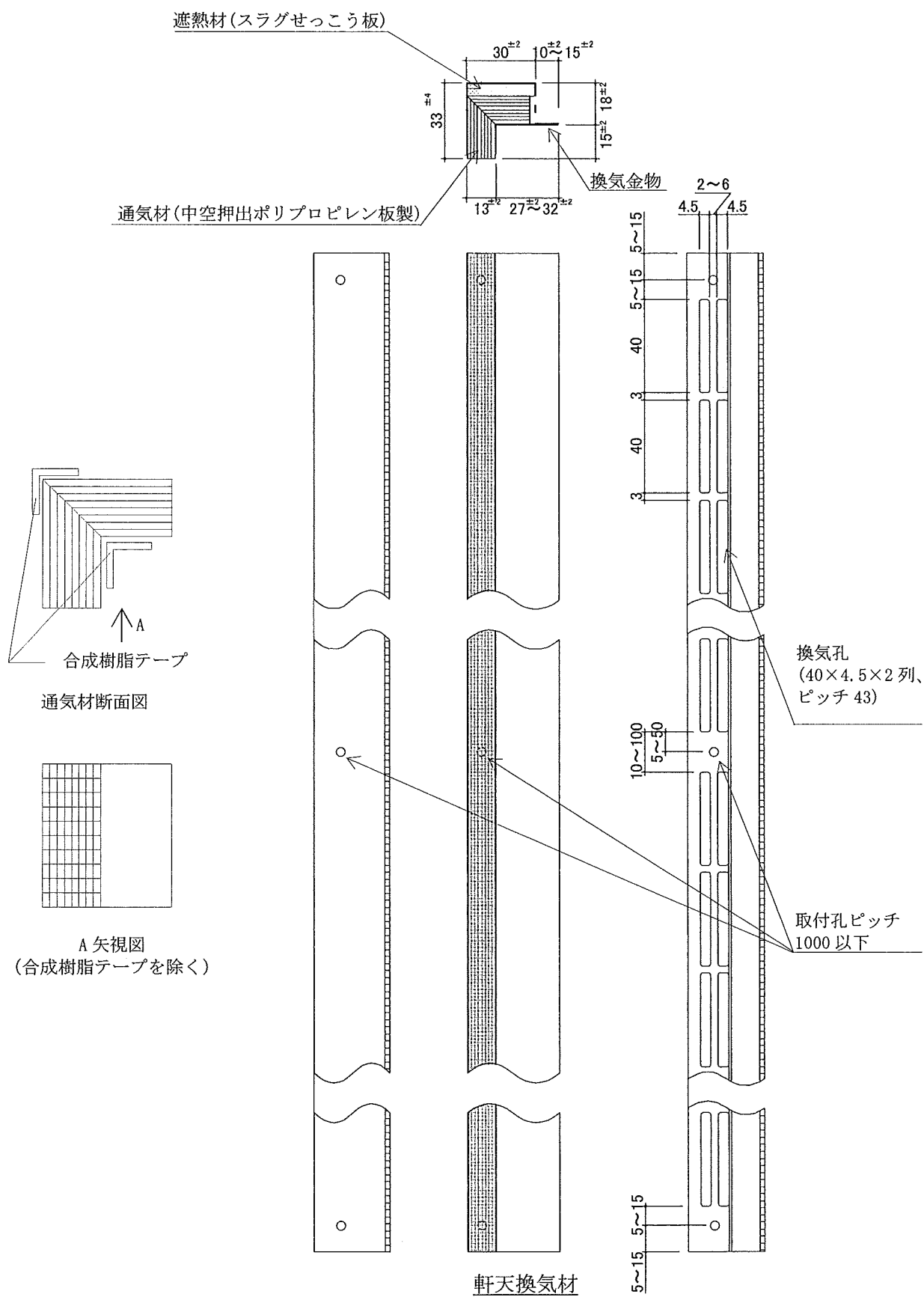


図 3 構造説明図

3. 施工方法：

施工図を図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 下地材の取り付け

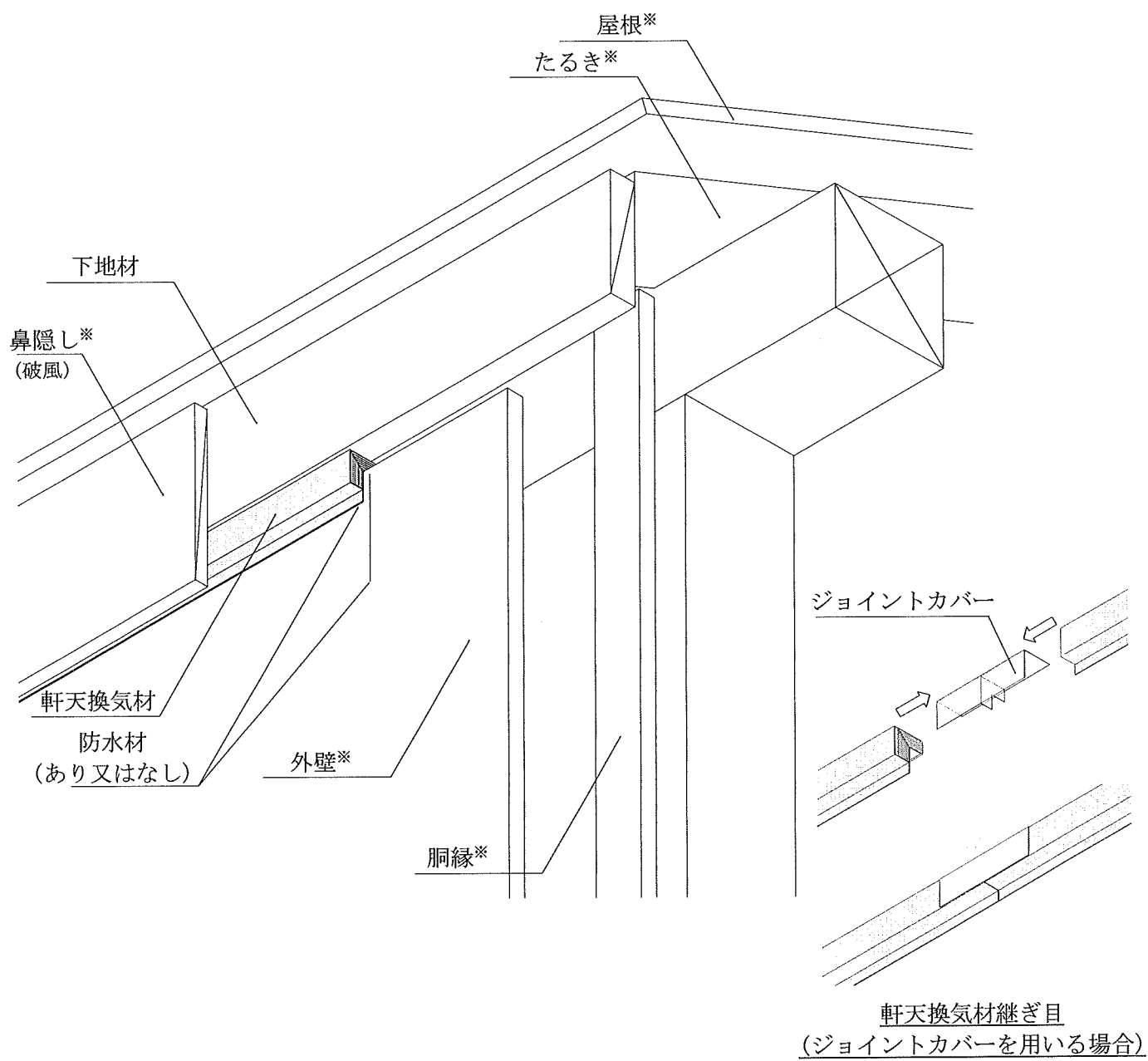
下地材は、軒裏構造を構成する部材(たるき、柱、上枠、野地板、胴縁など)に500mm以下の間隔で留付材を用いて取り付ける。

(2) 軒天換気材の取り付け

軒天換気材は、下地材もしくは軒裏構造を構成する部材に1000mm以下の間隔で留付材を用いて取り付ける。留付材の位置は、軒天換気材の下面もしくは正面から打ち込むものとする。

(3) 目地処理

軒元部の目地は、必要に応じて防水材を充てんし、隙間のないようにする。



※評価対象外

図 4 施工図